【明治　探究学習】で検索すると当ページへ！

探究学習は、
「問いを立てること」から始まります。

誰にも身近な食をテーマに
「問いの立て方」を学ぶことで、
探究し続けるチカラを育みます。

生徒にとって身近なチョコレートや牛乳。
その背景には明治が様々な課題を乗り越えてきた探究力がありました。

自分の身の回りにある食を入口にして、
問いの立て方を自然に学べる教材です。

生徒の「なぜ？」「もっと知りたい」を引き出し、
皆様の探究学習の最初のステップをサポートします。

資料
ダウンロード

探究の授業、
こんなことで止まっていませんか？

「総合的な探究の時間」が本格化して数年。
現場の先生からは、こんな声が聞こえてきます。

「自分で問いを立てなさい」と言っても、手が止まる

テーマを与えられないと動けない生徒が多く、最初の一歩でつまずく。

AIやネットの情報の貼り付けで終わる

情報収集はできても、自分の関心や社会課題と結びつかない。

先生の準備に時間がかかる

指導案づくり、資料収集、ワークシート作成など…

気づいたら、“調べ学習”になっている

探究の意義を生徒が実感できず、"作業"になってしまう。

資料ダウンロード

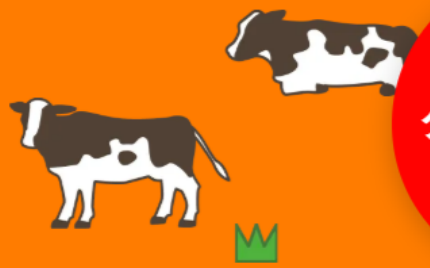
この教材は
『何から始めれば良いのか、わからない』に応えます。

生徒が自ら“問いを立てる”力を育てる教材です。

探究の本質は、知識を覚えることではなく、自分の関心から問いを立て、社会とつなげて考えることです。
しかし、いきなり「問いを立てよう」と言われても、生徒は何をどう考えればいいのかわかりません。
だからこそ必要なのが、思考の"入口"と"型"です。

この教材では、チョコレートや牛乳という身近な食を入口に、
生徒の素朴な気づきを社会課題へとつなげていきます。

観察し、疑問を持ち、構造化し、自分の問いとして言語化する、
その一連の思考プロセスを1コマの授業で体験できる設計です。
チョコレートや牛乳は、調べる対象ではありません。
生徒の関心と、本物の社会課題を結ぶ"入口"です。



資料
ダウンロード